

北信建設事務所 道路事業による整備効果

(国) 117号 ^{なかのし} 中野市 ^{かえさ} 替佐～^{しずま} 静間バイパス (防災・安全交付金事業)

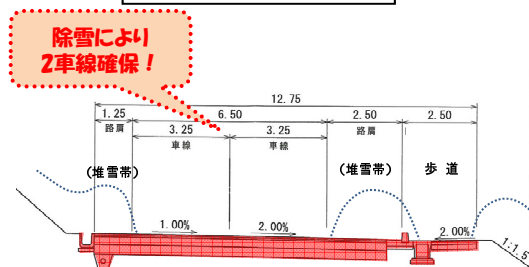
- 国道117号は長野市から北信地域を經由し新潟県を結ぶ主要な幹線道路で一次・二次緊急輸送路となっている。
- 替佐～五位野間は道路が狭隘かつ脆弱で豪雪被害を受けやすく、並走する国道292号に混雑が発生している。
- 「替佐～静間バイパス」事業として、飯山市五位野～豊田飯山インターチェンジまでがH9に一部供用済み。
- 替佐～豊田飯山I.C区間の開通により、北信地域全体の活性化や国道292号の交通渋滞緩和が期待されている。



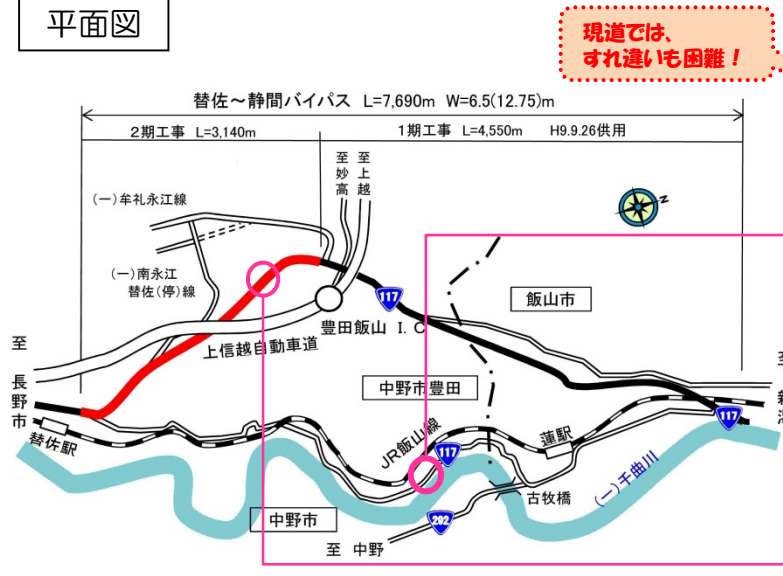
事業概要

- ・延長：7,690m
- ・設計速度：50km/h
- ・計画交通量：9,300台/日
- ・標準幅員：12.75m
(2車線、片側歩道)
- ・全体事業費：91.4億円
- ・着手年度：平成元年度

標準横断面図



平面図



現道では、すれ違いも困難!



整備効果

※20年後の混雑度予測



走りやすく、安全な道路に!

北信建設事務所 道路事業による波及効果

(国) 117号 中野市 (防災・安全交付金事業)

【安全・安心な交通環境整備】

- ① 安全・安心な道路環境
広く安全で降雪にも強い主要幹線道路。
(堆雪帯・歩道を備えた道路)
- ② 地域全体の安全環境
豊田地域内の迂回交通がなくなり、
生活道路環境が安全になる。



豊田飯山インターチェンジ



道の駅「ふるさと豊田」



豊田飯山インターチェンジ周辺図

【交通網整備による効果】

- ③ 国道292号への交通流動緩和
国道292号の渋滞が緩和される。
(七瀬の混雑度予想が1.27→1.00)
- ④ 観光・物資輸送等の活性化
豊田飯山I.C、北陸新幹線飯山駅アクセス強化で地域全体が活性化。
- ⑤ 地元地域の活性化
唱歌「ふるさと」の作者高野辰之の
出身地として、ふるさとの原風景を
全国にアピールすることで、地域の
活性化が期待される。



高野辰之記念館



整備が進む「替佐～静間バイパス」

＜唱歌「ふるさと」の原風景＞



「かの山」の大平山



「かの川」の斑川